

日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定

# 岩手県

[日本海溝(三陸・日高沖)モデル]

洋野町 P4	久慈市	P5	野田村	P6	普代村	P7
田野畑村 P8	岩泉町	Р9	宮古市	P10	山田町	P11
大槌町 P12	釜石市	P13	大船渡市	P14	陸前高田市	P15

#### 【特に留意すべき事項】

- 本資料は、堤防等の施設を津波が越流しても破堤しないと仮定した場合の浸水域等を、参考のために推計したものである。
- (注)実際の現象では、堤防が壊れる場合や壊れない場合があると考えられるが、仮にすべて壊れないとした場合を参考として推計
- ・避難を軸にした総合的な津波対策を検討する場合は、別途示している堤防が破堤する条件での推計結果を用いる必要がある。

#### 【留意事項】

- ・今回推計した津波高・浸水域は、広範囲の領域の全体を捉えた防災対策の参考とするために推計したものであり、 必ずしも各地先において最大となる津波高・浸水域を示しているものではない。
- ・例えば、津波計算については便宜上最小10mメッシュの計算格子で表現した地形データと堤防データによって構成したシミュレーションモデルを用いて計算しており、このような一定条件下における計算モデルによる推計結果であることに留意する必要がある(建物による津波の影響は粗度係数と呼ばれる摩擦係数に置き換えて計算している)。
- ・使用した地形や堤防データが作成された時期により、現状とは異なる場合があることにも留意する必要がある。
- ・地震、津波は自然現象で、不確実性を伴うものであることから、今回推計した津波高・浸水域はある程度幅を持ったものであり、必ずしも今回の推計結果通りになるとは限らず、場合によっては、ここで示した時間よりも早く津波が到来したり、津波高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があり得ることに注意が必要である。
- ・津波高・浸水域は、被害想定を検討する過程において、改めて検証した結果、修正されることがある。 (注:留意事項の詳細等については、概要版の本文を参照)

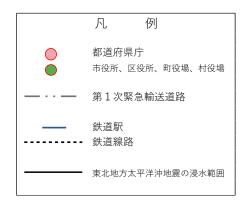
#### 【シミュレーションについて】

- 各種データは各機関の成果を収集するとともに、各道県から提供を受けた津波浸水想定に用いているデータ等を使用
- 初期潮位は朔望平均満潮位
- ・堤防等の施設は、津波が越流しても破堤しない

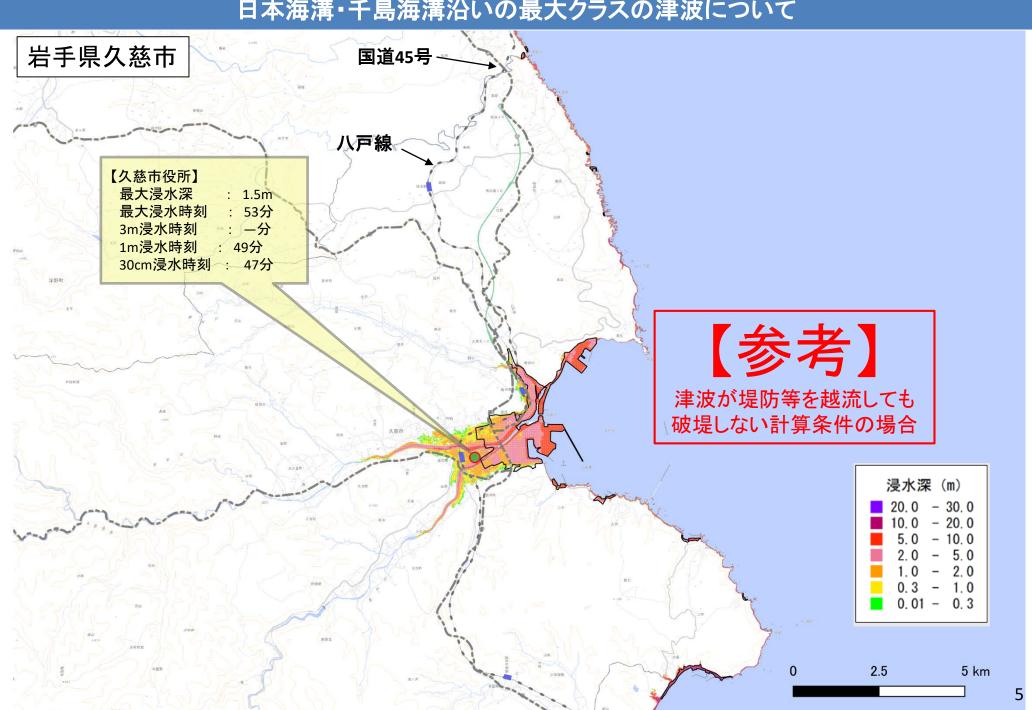


#### 【図の見方】

- ・黄色の吹き出しは、役所付近における浸水深さや、浸水深さがそれぞれ30cm・1m・3m・最大値となる時刻を掲載。
- (津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではない)
- 背景図については国土地理院のタイルを使用。













日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波について



